

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 篠崎 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走・20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

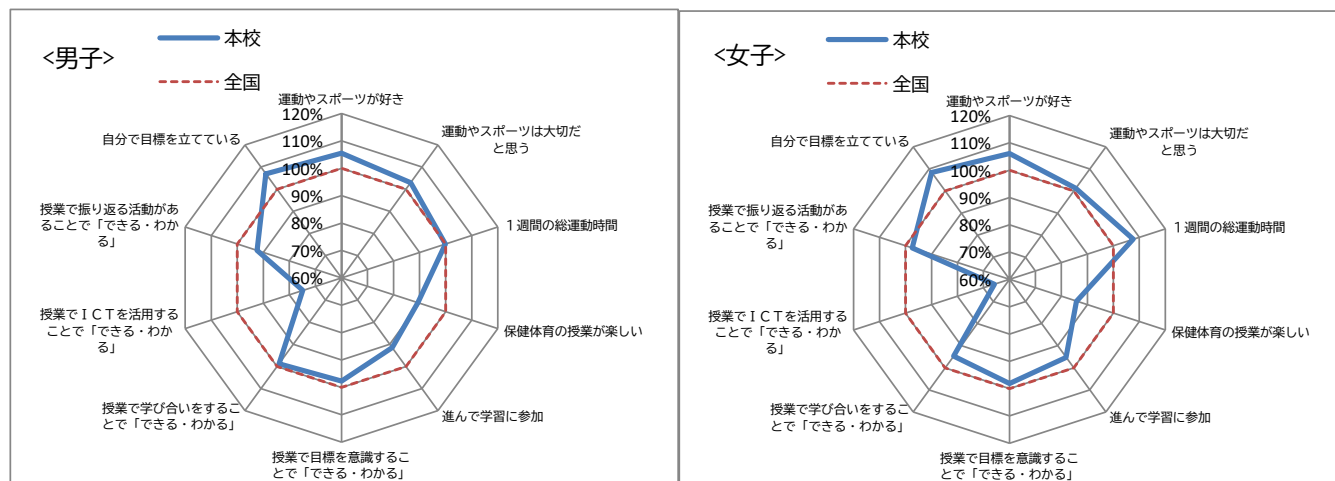
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.95	25.94	44.47	51.51	410.69	78.98	7.99	197.18	20.57	41.86
本市	29.93	26.34	45.51	52.15	463.01	81.17	7.88	201.59	20.38	43.31
本校全国平均以上の種目	○		○					○		

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.18	21.56	46.47	45.65	309.02	50.67	8.96	166.32	12.40	47.37
本市	23.47	21.97	46.62	46.51	330.19	52.35	8.85	171.43	11.75	48.44
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○		○	○	○		○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



男女ともに全国平均を下回っている質問項目が6項目あった。その中でも「ICTを活用することでできる・わかる」という項目が極端に大きく下回っている。GIGA端末のカメラ機能を活用した技能分析やソフトを用いた活動の振り返りの時間等を今以上に確保することで「できる・わかる」の経験が増え、体育の授業が楽しいと感じられる生徒の増加につながると考えられる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体を動かすことが楽しいと思えることが体力向上の第一歩と考え、そのためには授業の中で「できる・わかる」経験を多く積ませる必要がある。まずは、生徒自身が自己分析的確に行い、かつ主体的に課題解決できる授業を計画することが重要である。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

授業で取り組む種目に合わせて補助運動を加え、種目ごとに違う体の動きに慣れさせていく取組を行っている。また、授業開始時に集団走を取り入れ、基礎体力向上を図っている。